

## 斑点米カメムシとその防除法

斑点米カメムシは、イネの籾を吸汁することで斑点米を発生させます。斑点米の混入は米の等級に影響してしまうことから、その原因となる斑点米カメムシの防除はとても大切です。

### 1) 斑点米カメムシとは

斑点米カメムシは約 30 種類いますが、イネが**出穂する前**には水田付近の**畦などの雑草地に生息**しており、イネが**出穂した後**に**水田内に侵入・食害**するものがほとんどです。



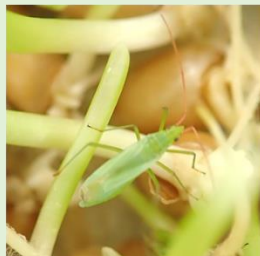
ホソハリカメムシ



クモヘリカメムシ



アカスジカスミカメ



アカヒゲホソミドリ  
カスミカメ



斑点米

主な斑点米カメムシと斑点米

## 2) 斑点米カメムシの防除

斑点米カメムシの防除では、①**化学的防除**、②**耕種的（生態的）防除**の組合せが大切です。

① **化学的防除**では、**粉剤**や**水和剤**、**フロアブル**は**残効が短い**ことから、散布する**タイミングに注意**しましょう。適切な薬剤散布時期は出穂後が基本ですが、カメムシの種類や発生量、品種によっても異なるので、最寄りの防除所が発表している情報を参考に防除しましょう。

② **耕種的（生態的）防除**では、**イネが出穂する約 2 週間前**に畦畔等の**周辺雑草を防除**することで、**飛び込みの量を減らせます**。逆に出穂してからの除草では、居場所の無くなったカメムシの侵入量が増えてしまいますので避けましょう。また水田内で出穂している**ヒエ**や**ホタルイ**も**発生源になる**ことがあるので、しっかり**除草**しましょう。

### ○斑点米カメムシに登録のある主な本田散布剤一覧<sup>※1</sup>

薬剤	IRAC 番号	系統	主な剤型			単剤における 使用時期 (収穫前日数) <sup>※2</sup>
			DL粉剤	液体製剤 /水和剤/ 水溶剤	粒剤	
キラップ剤	2B	フェルピ°ラバル系	○	○	○	14日前まで
トレボン剤	3A	ピ°レシト°系	○	○	○	7~21日前まで
MR.ジョーカー剤	3A	ピ°レシト°系	○	○	-	7~14日前まで
スタークル剤	4A	ネコチノイト°系	○	○	○	7日前まで
ダントツ剤	4A	ネコチノイト°系	○	○	○	7日前まで
エクシード剤	4C	スルホニル系	○	○	-	7日前まで

※1：使用にあたっては、ラベルを必ずご確認ください。

※2：収穫前日数は剤型によっても異なりますので、ラベルを必ずご確認ください。